

つなぐ



＜設立状況(R4.6.1) 全41地区中＞	
まちづくり協議会	30(32地区)
まちづくり協議会準備会	0(0地区)

Vol. 43

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL: (089)948-6963 FAX: (089)934-1821

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

Facebook まちづくり協議会情報局



湯山地区まちづくり協議会 が設立されました！



令和4年4月22日(金)に湯山地区まちづくり協議会の設立総会が開催されました。令和4年6月1日現在、まちづくり協議会は市内41地区のうち32地区(30団体)で設立されています。

まちづくり協議会は、松山市にとって大切なまちづくりのパートナーです。湯山地区にまちづくり協議会が設立され、心強く思います。まちづくり協議会の設立が、より良いまちづくりのスタートになることを祈っています。



当日は、愛媛CATVさんにも来ていただき、後日、総会の様子が紹介されました。



湯山地区まちづくり協議会
会長 西岡 義則さん

湯山地区には、地域の宝がたくさんあります。

それらを生かしながら、松山で1番住みやすいまちづくりを住民みんなで、進めていきたいと思いません。





まち協設立地区紹介コーナー

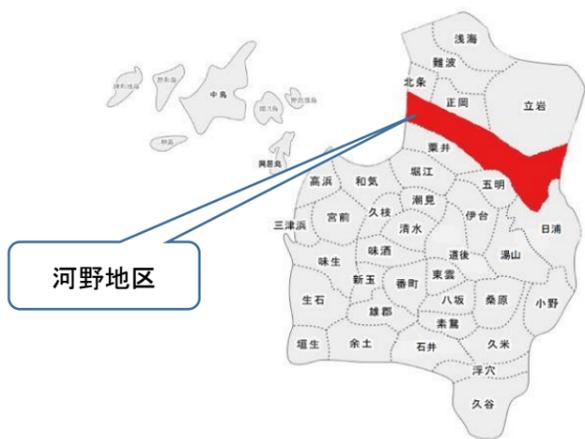


河野地区まちづくり協議会

人口 : 5,252人
世帯数 : 2,136世帯
※R4.5.1現在

河野地区は、高縄山からの豊かな水でおいしいお米や魚が育まれ、農業や林業が盛んな地区です。

伊予の豪族、河野氏発祥の地であり、地区名の由来となっています。砦跡など河野氏ゆかりの史跡が多く残っています。



河野地区

地区の見どころ



◎善応寺

河野氏の氏寺です。南北朝から江戸時代までの寺の歴史を記した「善応寺文書」という愛媛県指定有形文化財の古文書や仏像などが保管されています。

◎高縄山

四国百名山に選定されている、松山で最高峰の標高約986mの山です。山頂付近には展望台が設置され、壮大な景色を楽しむことができます。秋になれば、美しい紅葉も見ることができます。



【善応寺】



【高縄山からの景色】

活動内容の一例

◎フリマルシェ・クリスマスイルミネーション

まち協主催の新たなイベントとして、昨年度から実施しています。今年度のフリマルシェでは、住民の皆さんにも出店してもらい、イルミネーションもパワーアップさせ、さらに盛り上げていきます。



◎小中学校との共同事業

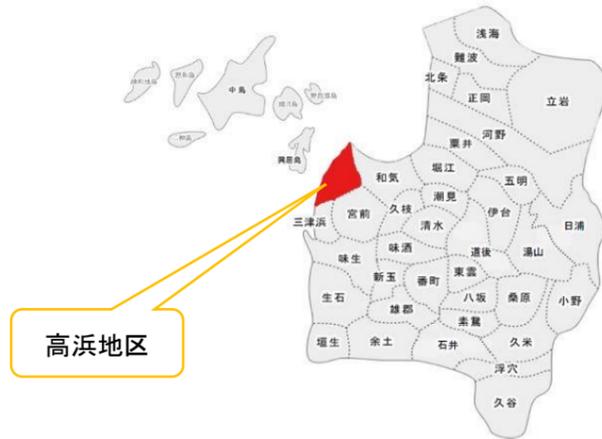
河野小5年生が行っているもち米づくりに協力し、田植えから稲刈り、もちつきと一緒に活動しています。また北条南中 PTA 主催の高縄登山にも協力しています。



高浜地区まちづくり協議会

人口 : 6,549人
世帯数 : 2,913世帯
※R4.5.1現在

高浜地区は、松山市の北部に位置し、緑豊かな山や美しい瀬戸内海に面した自然豊かな地区です。地区には駅や港があり、市街地だけでなく忽那諸島へのアクセスの良さも魅力です。



高浜地区

地区の見どころ



◎白石の鼻巨石群

海面に浮かぶ花こう岩の巨石群です。三ツ石の空間に太陽光が差し込む景色はとても神秘的です。ぜひ、1度足を運んでみてください。

◎見晴山の秋山兄弟像

みはらしやま
高浜公民館近くの見晴山には、秋山好古・真之兄弟の銅像があります。(ロープウェイ街だけじゃないんですよ)
※なぜ2人はそれぞれ別の方向を向いているのでしょうか? 答えが気になる方はぜひ一度見晴山へ!



【白石の鼻巨石群】



【秋山兄弟像】

活動内容の一例

◎ハッピーわいわいハウス

空き家を改修し、整備した地域の交流拠点施設です。昨年10月には、ハロウィンイベントを開催し、たくさん子どもたちに来てもらいました。今後も楽しんでもらえるような催しを検討しています!



◎子どもたちとの交流

しおかぜ児童クラブや高浜小学校の総合学習の活動に協力し、子どもたちとの交流に力を入れています。また、夏休み期間中にディスコン教室を開催し、子どもから大人みんなで汗を流して楽しみました。



「フードドライブ」

ご存知ですか？



フードドライブ活動とは？

家庭で余っている食品を持ち寄り、必要としている子ども食堂や福祉団体などに寄付することを言います。この活動は、アメリカやヨーロッパでは古くから取り生まれ、日本でもイベント会場や学校、お店などで徐々に広がっています。



令和3年度には、生石地区まちづくり協議会にて、フードドライブをテーマとした勉強会が開催されました。松山市環境モデル都市推進課とまつやまNPOサポートセンターを講師に、食品ロスや子ども食堂、NPOの活動などについて紹介がありました。当日は、積極的な意見交換をし、食品ロスへの取組や松山市で活動している団体への理解が深まる時間になりました。



フードドライブってどんなことにつながるの？

○食品ロスの削減

食品ロスとは「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」のことです。皆さんのご家庭には、スーパーの安売りなどで買いすぎてしまったり、お歳暮やお土産で食べきれなかったりという理由で、余っている食品はないでしょうか。これらの余ってしまった食品の中には、手つかずのまま捨てられてしまうものがたくさんあります。これらを持ち寄っていただき、必要な人に届けることで、食品ロスを防ぎ、ごみの減量につなげることができます。

○地域福祉の向上

無料または低価格で食事を提供する「子ども食堂」などでは、たくさんの食材を必要としています。また、生活に困っている人や、それを支援している団体はもちろん、災害時の支援物資としても食べ物は必要です。これらの支援の輪が広がることで、地域福祉の向上にもつながります。

